

渋谷昶子さん追悼上映会

上映作品

「挑戦」・「大連と私」

日本では女性の監督が珍しかった 1960年代から今日まで、道を切り開きながら、自分にしかできない映像を追求した、渋谷昶子さんが2月1日に亡くなりました。
彼女の思いを映像で知ること、ささやかな追悼としたいと思います。

1964年カンヌ映画祭短編部門グランプリ作品「挑戦」

東京オリンピックの前年、女子バレーの金メダルをめざす日紡貝塚。
毎日続く過酷な練習風景を描く、貴重映像！！



渋谷監督最後の作品「大連と私」



大連に生まれ、15歳まで過ごした渋谷監督が2012年にその地を訪れる。
後の生き方に大きな影響を与えた、大連の、のびのびした女学校教育。
自身は無事帰国できたが、過酷な体験をした引き揚げ者たちへの申し訳ないという思いは強く、どうしても映像にしないで、という決意のもとで制作された渾身の遺作。

2016年 **3月19日(土)** 18:30~20:30

場所 渋谷女性センターアイリス
(渋谷区文化総合センター大和田8F)
参加費無料 カンパ歓迎
先着50名 事前予約の必要はありません。



渋谷駅西口より徒歩5分。
セルリアンタワーの正面階段左の坂を上がり、
道路を渡って右手
プラネタリウムのある建物

『**挑戦**』
1963年/日本/34分/ドキュメンタリー/監督・脚本:渋谷昶子
電通映画社製作/カンヌ映画祭短編部門グランプリ

『**大連と私**』
2013年/日本/38分/ドキュメンタリー/監督・制作:渋谷昶子

主催 映像女性学の会

お問い合わせは、映像女性学の会・小野まで (mail:ycinef@yahoo.co.jp Tel.090-9008-1316 fax03-3306-2762)